

# 委員会調査(研修)報告書

NO.

令和 5年 6月 2日

胎内市議会議長

小野 徳 重 様

(報告者) 厚生環境常任委員会  
委員長 渡 辺 栄 六

厚生環境常任委員会閉会中所管事務調査 について、  
議会会議規則第110条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日 時	自 令和 5年 5月 2日 至 令和 5年 5月 2日 泊 日 ( 1日間)	調査・研修 場 所	・きすげこども園 ・カレイドスクエアパーク胎内
調査・研修 事 項	① 「きすげこども園」の渡り廊下等の施設見学、今後の運営状況等 について ② 「カレイドスクエアパーク胎内」の施設見学、事業の概要等について		
調査・研修 出席者(参加者)	渡辺栄六 羽田野孝子 丸山孝博 渡辺宏行 薄田智 坂上清一 渡辺秀敏 八幡元弘		
相手方(対応者)	「きすげこども園」 事務長 大石順一郎 園長 瀧澤貴子 「カレイドスクエアパーク胎内」 トラインスミス株式会社取締役社長 羽田健亮		

## 調査の結果または概要

「きすげこども園」は平成29年4月から幼保連携型認定こども園事業を開始。利用定員を75名から令和5年度は95名に増員。在園児は84名であり、職員35名で対応。保育時間は7時から19時までであり、通園バスは26名の利用で2歳児から受け入れている。渡り廊下は広々としていてスロープも付けられ有効利用がなされていた。

「カレイドスクエアパーク胎内」は令和2年11月開設。放課後等デイサービスと就労移行支援サービスを実施している。放課後等デイサービスは定員10人だが小学生10人・中学生3人・高校生8人が利用している。就労移行支援サービスは18歳以上65歳未満を対象に一人一人に合わせた無理のない支援をしているとの説明であった。

## 調査の所見・感想

「きすげこども園」の運営は1クラス正規の保育士が2人体制あたり、障がい児保育を実施していた。利用者意向調査も実施していた。在園児は横ばいだが、3歳未満児は年々減少していた。将来を見すえ、看護師が2人いるので医療的ケア児を受け入れていきたいとの方向づけであった。室内で相撲大会をしているが、野外で相撲場を作りたい等ユニークさも感じられた。

「カレイドスクエアパーク胎内」の運営は発達支援・家族支援・地域支援で自分らしく自分の町で暮らしていけるよう、人と人とのつながりを大切に活動しているとのこと。障がいがあって生きにくい社会を変えていきたいとの熱い思いが感じられた。